



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

R.I 会長 クレム・レスーフ

第 12 回 例会 1978 年 9 月 14 日 (木) 曇

第18号

出席報告

出席者数	ご来賓数	出席率	前回の出席率
25 名	20 名	86,9 %	100 %
ご来賓者 小菅, 宮之原, 辻			

矢野会長テーマ 友情の輪をひろげよう

司会 蜂屋副会長

## ゲスト

伊藤 茂ガバナー・ノミニー, 星 特別代表

## ピジター

光島督君(軽井沢)塚本勉君, 町田実君, 青木広吉君, 藤本孝君, 宮東悠君(大和)亀田義文君, 石井洋君(座間)

## 会長報告

蜂屋副会長代行

- 先週例会終了後, 国立相模原病院に, 小笠原会員を見舞い, お見舞い金をお渡ししました。その折, 9月12日に退院されるとの事で, お聞きしましたら予定通り退院されたとの事です。
- 先週例会終了後, 星特別代表にお願いして, 大和RC, 河嶋会長を会社にお訪ねして, 当クラブのチャーターナイトの準備に伴うご協力をお願いしました。
- チャーターナイトの会場に米軍厚木基地の施設を利用させていたゞくことになりました。
- 富田分区代理より, 会長のお見舞と会員の皆様にご挨拶の御手紙を頂きましたので回覧致し

ます。

- 軽井沢RC, 光島会員よりバナーを頂戴致しました。

## 幹事報告

- 9月23, 24日の地区年次大会には万障繰り合せて参加をお願いします。特に23日には, 新会員研修会が行なわれます。当クラブでは全員がこの研修会に参加されますようにお願いします。
- チャーターナイトの準備について, 親クラブのご協力が得られることになりましたので, 各委員会におきましては, 顧問の方々とも連絡をとりながら, 準備を進めて下さい。
- クラブ活動の資料が届いております。事務局に置いてありますのでご覧下さい。
- 本日は9月の第2例会日です。例会終了後定例理事会を開催いたしますので, 理事, 役員の方は御出席をお願いします。

本日のプログラム (9月21日)

「ローターアクトについて」大和RC 宮東悠氏

次週予定 (9月28日)

イニシェイションスピーチ 亀谷君 北砂君

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和市中心1-5-40  
及び 大和商工会館内  
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より  
会長 : 矢野久元 副会長 : 蜂屋良平  
幹事 : 長谷川清一 会報委員 : 土屋・郡司

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会 芦田副委員長

。来る10月15日、大和市の福祉の日協賛事業として、大和RCの医師と合同で、一般健康相談を行います。当日大和市中央文化会館大ホールで、NHKのど自慢大会が午後1時より行なわれ、その後もその他のアトラクションがあるようですが、1時から5時まで会場に来られた方を対象に一般健康相談をする予定です。各RCの幹事の他、2～3名の委員の方の参加をお願いしております。

## 卓話

### 青少年問題について

ゲストスピーカー 伊藤 茂ガバナー・ノミニエ  
紹介：星 特別代表

伊藤先生は相模原中RC所属で、相模原にございます伊藤病院の院長さんです。ボーイスカウトの神奈川県連盟の理事長をされており、古くから青少年問題に取り組みされており、この259地区におけるロータリーアクト、インターアクト、ライラ等、青少年指導者養成セミナープログラムの第一回を手がけられ、青少年問題については右に出る人が居ない程長ておられる方です。奥様も現在ガールスカウトの神奈川県連盟の財務部長をされているという御夫婦揃いで青少年問題に取り組んでおられます。

只今ご紹介を頂きました伊藤でございます。本日は青少年活動週間にちなんで「青少年問題」について話すようにとの星特別代表さんからのご指令があり、更に矢野会長さん、長谷川幹事さんのご丁寧な公式の要請があり、大変恐縮に存じております。私は当クラブの創立総会にお邪魔致しましてから、今日が2回目でございますが、素晴らしいクラブに成長致しましたことを先づもって心からお祝い申し上げ、敬意を表したいと存じます。

ロータリーの創始者ポールハリスは、

「ロータリークラブは平均出席率が高くなくて

はその重要な目的を達することが出来ない。最良のクラブとは最高の出席率を保持するクラブである。」と語っております。

ロータリークラブは親睦に始めて親睦に終ると言われる程、親睦を大切にします。

親睦、即ち知り合いを広め相互理解を深めるということを骨格として、それに奉仕の肉付けをし、情報という血液の循環をよくして、奉仕の人を育てる場所、人間形成の場であると言われます。従いまして出席なくして真の親睦はあり得ないと存じます。勿論、親睦のみでは他の社交団体と何等変ることがないのであります、その根底にロータリー哲学を基礎としてこそ、今日の発展がなされたものと存じますが、当クラブでは結成以来今日まで出席率100%を堅持しているということを見ましても素晴らしいと申し上げたのでございます。それは当クラブのスポンサークラブ大和クラブが75名というメンバーを抱えて、年間通して100%と当地区74クラブ中トップで、その名門のクラブから生まれたクラブであってみればと、うなずける訳であります、何はともあれスポンサークラブと共に259地区をリードして行く将来期して待つべきクラブと存じます。

このようなクラブでお話をさせて頂く機会をお与え頂きました特別代表、会長、幹事さん始め、会員の皆様に心から感謝申し上げます。

さて、ロータリー情報「青少年」の冒頭に青少年委員会の任務として「若い人達を直接助けたり、或は又、彼等の価値や潜在能力に対する社会のびとの評価を高めるよう工夫された企画を立て、且つプログラムを作ること。青少年活動週間はその一例であると記されております。

そして、委員会の仕事の指導原理はロータリアン個人を参加せしめて「青少年のために」ではなく「青少年と共に働く」というロータリーのすぐれた方針となって具体化されています。

基本的には指導的任務で而も、青少年に深い関係をもつ現代の社会情勢を認識する必要があります。この仕事は、何れの国においても最も価値ある資源の青少年を取扱うものであります

から委員会の委員は青少年に強い感心を持ち、委員会の仕事に相当多くの時間を割愛する心掛けが必要であります。とおしえております。

そこで青少年委員会はこの国際ロータリーの方針であります「青少年と共に働く」ことを前提としてプログラムを作成しなければならないと存じます。

ボーイスカウトは1908年、ガールスカウトは1912年の創設ですが、ロータリーはその頭初よりこれ等の2団体に対し強い関心を持ち現在も尚、世界中の多くのRCが陰に陽に支援しております。

1960年代になりまして、既成の団体では一つの組織の中にあつて直接ロータリー精神の鼓吹ができないとして、1962年にRIがインターアクトクラブの提唱を全世界のRCに呼びかけ更に、1968年にローターアクトクラブの提唱を呼びかけて現在に至つたのであります。

何れに致しまし もRCもロータリアンも“青少年への奉仕”ではなく“青少年と共に”の姿勢で、RIクレム・レヌーフ会長の“手をさし伸べよう、街に出て青少年には指導と激励を、インターアクト、ロータリーアクト、ライラによって若い人達が奉仕に参加出来る機会を与えよう。思いきってやってみよう、たとえ力不足と思つても”このメッセージを噛みしめ、心を新たにして、新しいクラブは新しいクラブなりに青少年問題に取り組んで頂きたいと存じます。

#### 理事会から (9月14日定例理事会)

1. チャーターナイトの会場として基地施設を使用するに当り、クラブ名で基地司令官に使用願いを出すこと。
2. 会員増強推進については当面銀行関係の協力を求めながら増加を進めることとする。
3. 青少年活動週間にちなみ、親クラブが育成しているローターアクトクラブ活動に協力して、この発展の助成に助成金を出すことに決定。

## Charter Member's Profile



北砂富三

新しく入会された3名の方々に、例会後別室で定款、細則について勉強会をされてきました。約一時間された後、初めて勉強会の感想を含めてお話を伺いました。

—お疲れのところですが、新入会員研修はいかがでしたか……。

「僕達は創立準備会の時、星先生からロータリーについてお教え願つたことを基本にして、創立後いろいろと本を読み勉強して来ました。今日で17回目の例会、そしてその間に地区協議会、クラブ協議会等を経験しました。言ってみれば、勉強した事を身で覚えて来た事になります。今日の研修は定款、細則を中心に勉強したのですが、僕達がこれまでに経験した事、勉強した事の中からお話ししました。今日お集りいたゞいた3人の方は、もう例会を経験されておりますので僕達が説明を聞いた時よりは分り易かつたと思います。又この勉強会を通して私自身非常に良い勉強になります。」

—ところで北砂さんは入会までRCについては御存知でしたか？

「商売上外人とのお付き合い、又会社の経営者の方とのお付き合いも多いので、かなり知つていたつもりでしたが、入会してみても大分違つたことが分りました。」

—今日で17回の例会を経験したわけですが例会については……？

「正直申し上げて、当初時間に間に合う様に来るのが苦しかつた。私は勤務先が相模原ですから……。」

## ロータリー情報

### 9月10日-16日の青少年活動週間

—情報抄録8月号より—

青少年は自分の個性を伸ばし、夢を育て、さらに市民としてまた一人前の男性、女性としてもつべき道徳的、宗教的観念を涵養することを励ましてやる必要がある。これは、いま言った若い個性を十二分に発揮させるという前提の下に、ロータリーが引き受けてよい仕事である。

—「ロータリー引用文集」(214-J)より

## スマイルBOX

相模原中RC 伊藤ガバナー・ノミニ

- 創立総会以来初めてお伺いさせて戴きました。又週報もいつも頂戴致し有難う存じます。勉強させて戴いております。
- お車代を頂戴しましたがお気持ちだけ頂きまして……。

大和RC 塚本会員、例会に初めて伺いました。よろしく願います。

大和RC 町田会員、この前お邪魔した時は、細谷直前ガバナーにお会い出来、比の度は伊藤ガバナー・ノミニにお会い出来、大変しあわせを感じます。よろしく。

大和RC 青木(広)会員、初めて出席させていただきました。今後もよろしく願います。

大和RC 宮東会員、土屋会員と同じ時代に同じ軽井沢小学校に通学していた事を、今初めて聞きました。

座間RC 亀田会員、初めて出席させていただきました。よろしく。

座間RC 石井会員、初めて出席いたします。今後共よろしく願ひ致します。

郡司会員 9月10日、平塚カントリー、セカンドフライト、マッチプレー、1・2回戦、2-1、3-2で勝ち抜き、9月17日は準決勝になりますので……。

須藤会員 前回欠席致して申し訳ありません。プロフィールを載せて戴き、ありがとうございました。

北砂富三。昭和7年7月、広島県福山市生まれ、46才。医者を目指して日本医科大学に入学。在学中父君が亡られた事情から、神大の機械科へ転校、その後早稲田大学政経学部に戻り、同大卒業。当時外人に日本語を教えていた関係で現在の保険会社へ就職。昭和48年3月までは東京、横浜と、ほとんど外人相手の商売。現在相模原支店長。

—ロータリー情報委員長としてひと言……

「ロータリーの基本を勉強するには大変良いと思います。それを基にして許される範囲内で、特徴ある大和中クラブを築きあげることに、微力ながら努力させていただきます。」

—今後のRCに望むことがありますか……

「創立4ヶ月たっているわけですが、創立直後は皆さんもいろいろ勉強されたことと思いますが、だんだんと慣れてくるに従って定款、細則等もお忘れになっている方もあるようです。いろいろ経験した今日、再び読み返して頂きたい。私自身も読み返してみ、今まで良く分らなかった事柄が、理解出来ました。是非一年に一度は定款、細則を読んで貰いたいと思います。RCについては相互のコミュニケーションを一層深める事にロータリーの意義があると思いますので、お互に努力したいですね。」

「「新入会員を創立会員以上に立派な会員に育てること。それが私の役目です。」と語る北砂さん。とにかく毎週大きなカバンをさげて例会に参ずる姿に頭がさがります。

ご趣味は、ゴルフ(歴14年)、テニスだそうです。昭和45年から、藤田会員のビルを借り、英会話教室“リンカンアカデミー”も経営されています。

お話を伺い乍ら、“もっと勉強しなければ”と感じる私でした。(土屋会報委員)